



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和6年10月1日 NO.6

042-541-2940

創立45年目(昭和55年開校)

今の時代

校長 前川 法彦

近年、日本全国の高校野球部で指導している、元メジャーリーグ選手のイチローさんの発言が話題になっています。時代の移り変わりによって、いままで行われていたような「厳しい指導」がされなくなったことをイチローさんは「酷なこと」と話しています。どうしてでしょうか。

スポーツをひとつの娯楽や活動として楽しむことを軸にした取り組みは、近年高く評価され、そのスタイルを続けたチームが甲子園で優勝しました。しかし、一見すれば「やさしさ」のようにみえますが、同時に若者に「大きな自己責任」が生まれきていることが考えられています。ある時代までは、自分で自分を厳しく律することがうまくできなかった場合でも、その人の近くには「厳しい大人(先輩)」がいて、自分を楽な方へ流れないように、方向性を直してくれて、力を身に付けることができていました。しかし、若者からすれば、ひと昔前までの指導ではないため、生活しやすいと感じますが、「自分で自分をコントロールできないと(誰からも指導されたり修正されたりすることなく)そのままにされる」ことにつながっていきます。結果的に、どこでもそれなりに「やさしく」されますが、タフな人には差をつけられ、誰にもそれを埋め合わせてもらわず、差が開いてしまったあとから「自分がこうなったのは、だれも教えてくれなかったせいだ」とはならないのです。

いま「叱ってくれる大人」は少なくなり、若い人が「叱ってくれる大人」に出会える確率は、ものすごく低下しています。出会えたとしたらラッキーで、それが人生を変える出会いになる可能性があるからです。叱る言葉を投げかけ、行動を抑える人がいなくなった分だけ自由になったけれども、その自由は、なにもかもを許してくれるやさしい表情と、すべてを許してしまうために、手を差し伸べない酷な表情をあわせもっていることも考えておくといいかもしれません。



海外交流では、多くのご支援をありがとうございました。生徒も貴重な経験となりました。あと1か月で合唱祭になります。ひとりだけでは決してできない行事。「仲間とひとつのものをつくりあげた」「心を込めてがんばれた」という誇りをもてる活動になってほしいと考えています。ぜひ、当日の福中生の姿を見ていただければ幸いです。